岡山県立高等学校入学者選抜の改善（素案）について

１　改善の基本的な考え方及び主な改善点等

⑴ 改善の趣旨

岡山県高等学校教育研究協議会の意見まとめ（令和８年２月 24 日）を踏まえ、生徒の主体的な進路選択の促進及び中高の円滑な接続に資するよう、入学者選抜制度の改善を図る。

⑵ 改善の基本的な考え方

ア　生徒の興味・関心の多様化、特別な支援を要する生徒の増加を踏まえ、生徒の主体的な進路選択を一層促進するために、生徒の資質・能力を多面的に評価できる選抜制度とする。

イ　中学校と高等学校の円滑な接続に資する入学者選抜日程とする。

ウ　各高等学校がスクール・ポリシーを一層具体化し、求める生徒像に即した選抜を行うことができる選抜制度とする。

エ　生徒の受検機会を適切に確保することができる選抜制度とする。

⑶ 主な改善点

ア　特別入学者選抜と一般入学者選抜を統合し、２月下旬に第１次入学者選抜を実施する。

イ　第１次入学者選抜では、全ての高等学校において、特色枠による選抜及び一般枠による選抜を実施する。特色枠による選抜では、学科等の特色に応じた選抜資料・選抜方法を工夫した選抜を実施する。

ウ　全ての高等学校において、複数校志願を実施する。

２　入学者選抜の導入年度

令和 10 年度（令和 11 年度入学者対象）

３　入学者選抜制度の概要

⑴ 第１次入学者選抜

ア　実施校

全ての高等学校

イ　実施時期

２月下旬

ウ　募集人員

募集定員の 100 パーセントに当たる人数を募集する。

ただし、⑶に示す「その他の入学者選抜」を実施する高等学校の科・コースについては、当該入学者選抜を含め、募集定員の 100 パーセントに当たる人数を募集する。

エ　選抜の枠組み等

(ｱ)選抜の順序

第１次入学者選抜においては、まず、(ｴ)に示す「特色枠による選抜」を実施し、次に、(ｵ)に示す「一般枠による選抜」を実施する。

(ｲ)出願

異なる志願先に、第３志望まで出願することができる。(複数校志願)

(ｳ)選抜資料

全ての高等学校において、調査書及び学力検査（全日制課程は国語・数学・英語・社会・理科の５教科、定時制課程は国語・数学・英語の３教科）・面接の結果等を選抜資料とする。また、特色枠による選抜において選択実施する検査（口頭試問・小論文・作文・実技・プレゼンテーション・自校作成による学力検査の追加問題のうちから、各高等学校が選択実施する検査）の結果を選抜資料に加えることができる。

(ｴ)特色枠による選抜

ａ　募集人員

募集定員の 10～80 パーセントの間で、各高等学校が科・コースごとに設定する。

＊　県教育委員会において特に必要があると認めた場合、上記の割合を超えた募集人員を設定することができる。

＊　普通科の分野の募集人員は別に定める。

ｂ　出願

(a)　志願する当該科・コース・分野に対して、興味・関心があり、能力・適性を有し、志願する動機・理由が明白かつ適切であること。

(b)　各高等学校が示す「三つの方針」(注) 等を参考とすること。

(c)　一般枠による選抜の第１志望の学校・科・コースと同じとする。ただし、分野に出願する場合、一般枠による選抜の第１志望は、当該分野を置く学校・科とする。

(d)　特色枠による選抜に出願せず、一般枠による選抜にのみ出願することができる。

ｃ　選抜の方針

(a)　調査書及び学力検査・面接・選択実施する検査の結果等を資料として、総合的に判断する。なお、高等学校長は、調査書及び面接の結果等を重視することができる。

(b)　目的意識や適性等を重視するとともに、各高等学校の科・コース・分野の特色に配慮する。

ｄ　合格とならなかった者の扱い

選抜の結果、合格とならなかった者は、一般枠による選抜の対象となる。

(ｵ)一般枠による選抜

ａ　募集人員

募集定員から特色枠による選抜において設定した募集人員を除いて設定することとし、募集定員の 20～90 パーセントの間で、各高等学校が科・コースごとに設定する。

b　出願

(a)　各高等学校が示す「三つの方針」等を参考とすること。

(b)　異なる志願先に、第３志望まで出願することができる。

c　選抜の方針

(a)　第１志望選抜においては、調査書及び学力検査・面接の結果等を、第２志望選抜及び第３志望選抜においては、調査書及び学力検査の結果等を資料として、総合的に判断する。

(b)　各高等学校の科・コースの特色に配慮する。

(c)　第１志望選抜

募集定員の 90 パーセントに当たる人数から、特色枠による選抜及びその他の入学者選抜の合格者を除いた人数を、第１志望の志願者のうちから選抜する。

(d)　第２志望選抜

第１志望選抜において合格とならなかった次の者のうちから、募集定員に達するまで選抜する。

・第２志望選抜を行う科・コースを第１志望としていた志願者

・第２志望選抜を行う科・コースを第２志望としていた志願者

(e)　第３志望選抜

第２志望選抜を行ってもなお欠員を生じている科・コースでは、第２志望選抜において合格とならなかった者のうち、当該科・コースを第３志望とする志願者のうちから、募集定員に達するまで選抜する。

(ｶ)追検査

a　対象者

インフルエンザの罹患等やむを得ない理由により第１次入学者選抜を欠席した志願者のうち、受検を希望するものとする。

b　実施時期

３月上旬

c　実施内容

学力検査及び面接

d　選抜資料

調査書及び追検査での学力検査・面接の結果等を選抜資料とする。

e　選抜の方針

調査書及び追検査での学力検査・面接の結果等を資料として、募集定員外で総合的に判断する。

オ　合格者の発表

３月上旬～中旬

⑵ 第２次入学者選抜

ア　実施校

第１次入学者選抜の合格者の発表時（以下「合格者の発表時」という。）に欠員を生じている高等学校

イ　実施時期

３月中旬

ウ　募集人員

募集定員から、合格者の発表時における合格者数を除いた人数とする。

エ　出願

原則として、公立高等学校第１次入学者選抜を受検した者で、県内の公私立いずれの高等学校にも合格していないものとする。

オ　選抜資料

調査書及び第１次入学者選抜における学力検査（追検査の学力検査を含む。）・面接の結果等

カ　選抜の方針

(ｱ)　調査書及び第１次入学者選抜における学力検査（追検査の学力検査を含む。）・面接の結果等を資料として、総合的に判断する。

(ｲ)　各高等学校の科・コースの特色に配慮する。

(ｳ)　同一校内の異なる科・コースに、第３志望まで出願することができる。

キ　合格者の発表

３月中旬

⑶ その他の入学者選抜

第１次入学者選抜及び第２次入学者選抜以外の入学者選抜は、次のとおり実施する。なお、詳細については、令和 11 年度岡山県立高等学校入学者選抜実施大要において決定する。

ア　海外帰国生徒のための入学者選抜

イ　連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

ウ　フレックス制に係る入学者選抜

エ　定時制課程の特別な入学者選抜

オ　外国人生徒等のための入学者選抜【新規】

（注）三つの方針：各高等学校における「求める生徒像」「学びの内容・方法」「育てたい生徒像」を総称したもの。